

令和7年6月27日発行



農業担い手メールマガジン（第428号）



<トピックス>

1. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第12回選定）の公募を開始しました！
2. 有機農業・環境保全型農業の優れた取組を募集します！
3. 「令和7年度 病害虫発生予報第3号」（令和7年6月11日（水）付け）を発表しました
4. （みどり戦略技術紹介）ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発
5. ため池ベントナイトシート工法の設計手順や施工方法を解説したマニュアルを公開
6. 有機質資材からの養分供給量を予測する「有機質資材肥効見える化アプリ（畑・水田版）」を公開
7. 生産現場でのトマトの生育・収量予測情報の利用を可能に！
8. 日本で初めて、バイオ炭の農業利用に関する体系的なガイドブックを公開
9. 施設栽培トマトの糖度を予測・制御可能に
10. 「日本茶海外輸出に資する緑茶用新品種『せいめい』 栽培・加工技術標準作業手順書『鹿児島県版』」を公開
11. 米の生産意向に関するアンケート調査について
12. 今年も優良なそば生産農家・集団を表彰します！

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第12回選定）の公募を開始しました！】

農林水産省では、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」と称し、農山漁村の地域資源を活用した地域の活性化や所得向上に向けた取組を幅広く募集しています。

（募集期間：6月2日（月）～8月12日（火））

ご応募頂いた中から特に優れた取組については選定証の授与や、下記特設 Web サイトへの掲載、交流会の開催などを通じて全国に広く発信していきます。

あなたの“農山漁村（むら）の宝”を教えてください！

自薦他薦問いませんので、自らの取組や身の回りの優れた取組のご応募をお待ちしております

ます！

◇ 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」の詳細はこちら（特設 Web）

→ <https://www.discovermuranotakara.com/>

◇ 第 12 回選定応募ページはこちら（特設 Web）

→ <https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

◇ プレスリリース（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/250602.html>

◇ 総理官邸で行われた交流会の様子（令和 6 年度）（首相官邸 Web）

→ <https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202501/07mura.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農村振興局農村計画課農村活性化推進室（担当；浅野、児嶋、田中）

TEL：03-3502-6001（直通）

## 【 2. 有機農業・環境保全型農業の優れた取組を募集します！ 】

農林水産省では、持続可能な農業の確立を目指し、意欲的に経営や技術の改善、普及等に取り組んでいる農業者、農業団体、流通・加工業者、教育機関等を表彰する「令和 7 年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」の募集を開始しました！

有機農業・環境保全型農業に取り組んでおられる皆様からのたくさんのご応募をお待ちしています！

### ▼ 応募期間

令和 7 年 6 月 6 日（金）～ 9 月 5 日（金）

※ 農業環境対策課に直接提出の場合 9 月 19 日（金）まで

### ▼ 表彰部門

有機農業・環境保全型農業部門（昨年度から GAP 部門と隔年開催になりました。）

◇ 詳しくはこちら（農林水産省プレスリリース）（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kankyo/250606.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局農業環境対策課（担当；鈴木、湊谷、佐藤）

TEL：03-6744-2114（直通）

【3. 「令和7年度 病害虫発生予報第3号」（令和7年6月11日(水)付け）を発表しました】

農林水産省は、今後の農作物の病害虫発生動向や防除について「令和7年度病害虫発生予報第3号」を発表しました。

気象庁の向こう1か月の予報（6月5日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、北日本、東日本及び西日本ではほぼ平年並、沖縄・奄美で平年並みか少ないと予想されています。

水稲では、イネミズゾウムシの発生が、北陸の一部の地域で多くなると予想されています。

麦では、赤かび病の発生が、関東、甲信及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。

ばれいしょでは、アブラムシ類の発生が、北海道の一部の地域で多くなると予想されています。

野菜では、コナガの発生が、北海道、北東北及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹カメムシ類の発生が、北東北、南関東及び東海の地域で多くなると予想されています。

この他、オオタバコガ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので下記のリンクや、最寄りの都道府県病害虫防除所が発表する発生予察情報などを併せて確認してください。

◇ 「令和7年度 病害虫発生予報第3号」の発表について（令和7年6月11日付け農林水産省プレスリリース）（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250611.html>

◇ 都道府県の病害虫発生予察情報など（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：岡田、城野、古澤）

TEL：03-3502-3382（直通）

#### 【4.（みどり戦略技術紹介）ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発】

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回は、ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発についてです。

CCYVによる退緑黄化病は、早期に診断し対策する必要がありますが、発生初期は、生理障害との区別が困難です。

開発された検査キットは、専門的な機器や試薬は不要です。所要時間30分で、誰でもどこでも、迅速にCCYV感染の有無を判定できるので、判定後、速やかに適切なウイルス病対策を行えるようになります。さらに不必要な農薬の使用を回避し、発病株を除去できるため、キュウリやメロンなどウリ類の安定した生産に貢献することができます。

本技術の詳細な情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：畑作) (PDF：5,094KB) p.14  
ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発（農林水産省 Web）

→

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/02\\_midori\\_catalog5\\_crop.pdf#page=14](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/02_midori_catalog5_crop.pdf#page=14)

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：中野、小松崎）

TEL：03-3502-3162（直通）

#### 【5.ため池ベントナイトシート工法の設計手順や施工方法を解説したマニュアルを公開】

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」）は、神戸大学と共同で作成した「ため池ベントナイトシート工法設計・施工マニュアル」を2025年6月6

日ウェブサイトで公開しました。

このマニュアルは、兵庫県が発刊した「兵庫県ため池ベントナイトシート工法設計・施工マニュアル」をもとに、農林水産省の指針に沿って、全国の自治体で活用できるよう設計方法および施工方法、維持管理方法等を統一化しています。

ベントナイトシート工法は、ため池の堤体内にベントナイト系遮水シートを敷設することでため池の安全性を向上させる工法であり、ため池の改修工事で採用数が増加しています。

このマニュアルを使用することで、全国の自治体で効率的にベントナイトシート工法の設計・施工が可能となります。

◇ プレスリリースはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nire/169216.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nire/169216.html)

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

**【6. 有機質資材からの養分供給量を予測する「有機質資材肥効見える化アプリ(畑・水田版)」を公開】**

農研機構は、「有機質資材肥効見える化アプリ(畑・水田版)」を開発し、日本土壌インベントリーのウェブサイトに公開しました。

本アプリは、「有機質資材の肥効見える化アプリ」(2021年5月公開)のリニューアル版で、主に次の3点の機能を拡張しました。(1) 水田版の追加、(2) リン酸・カリ肥効予測機能の追加、(3) 計算に必要な資材特性値の自動入力機能の追加。

生産者や普及指導員らがこのアプリを使うことで、家畜ふん堆肥や植物油かすなどの有機質資材からの養分(窒素、リン酸、カリ)供給量を「見える化」できるようになり、適正な施肥計画や化学肥料使用量の低減を図れます。

また、減化学肥料栽培の実証試験では、慣行の化学肥料栽培と同等の収量が得られました。有機水稲の実証試験では、アプリの予測に基づく施肥で増収につながったケースが確認さ

れました。

◇ プレスリリースはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/karc/169314.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/169314.html)

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

### 【7. 生産現場でのトマトの生育・収量予測情報の利用を可能に！】

農研機構と、株式会社 NTT アグリテクノロジーは、農業データ連携基盤「WAGRI」上で提供する「NARO 生育・収量予測ツール 1 果菜類(トマト)」の API を活用した実証試験を実施しました。

この実証結果をもとに、NTT アグリテクノロジーは、施設(ハウス)で栽培されるトマトの生育や収量を簡単にシミュレーションできるアプリケーションを開発しました。

◇ プレスリリースはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nivfs/169226.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/169226.html)

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

### 【8. 日本で初めて、バイオ炭の農業利用に関する体系的なガイドブックを公開】

農研機構、福井県、立命館大学などから構成される「脱炭素に向けた農林業環境研究コンソーシアム」は、農林水産省委託プロジェクト研究において、日本で初めて、バイオ炭の農業利用に関して体系的にまとめた「バイオ炭の農業利用事例とその活用ガイドブック」を作成し、公開しました。

バイオ炭への理解とその農地施用を促進して、日本の温室効果ガス (Greenhouse Gas、GHG) 排出量の削減に貢献します。写真や図表を用いつつ、多くの利用事例を紹介しており、農業、企業、行政関係者、一般の方にも理解しやすい内容です。

◇ プレスリリースはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/niaes/169191.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/169191.html)

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

#### 【9. 施設栽培トマトの糖度を予測・制御可能に】

農研機構は、環境や生育データから施設果菜の生育等をシミュレーションする「NARO 生育・収量予測ツール 1 果菜類」に、トマト果実の糖度を予測・制御する機能を新たに追加しました。

トマトの糖度を制御することは容易ではなく、高糖度トマトの生産には収量減少のリスクを伴うため、高い技術と経験が必要でした。本機能により、目標品質に合わせたトマトの糖度と収量の制御が、同時かつ容易に可能となります。

本機能は、2025年3月31日に提供を開始しました。農業データ連携基盤「WAGRI」を介して提供する「NARO 生育・収量予測ツール 1 果菜類」を契約された方が、この機能を追加料金なしで利用できます。

◇ プレスリリースはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ [https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nivfs/168882.html](https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/168882.html)

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら ((国研) 農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課 (担当：戦略的実装班)

TEL：03-3502-7407 (直通)

【10. 「日本茶海外輸出に資する緑茶用新品種『せいめい』 栽培・加工技術標準作業手順書『鹿児島県版』を公開】

農研機構は「日本茶海外輸出に資する緑茶用新品種『せいめい』栽培・加工技術標準『鹿児島県版』を5月13日に公開しました。

鹿児島県と農研機構は2022年に農業分野における連携協定を締結し、「せいめい」の普及ならびに栽培・加工技術の共同研究に取り組みました。

本手順書では、連携協定の研究成果に基づき、鹿児島県での「せいめい」の栽培法および各種茶種への加工法の留意点等をわかりやすく解説しています。

◇ 「『せいめい』栽培・加工技術標準作業手順書『鹿児島県版』はこちら（(国研)農研機構 Web)

→ <https://sop.naro.go.jp/document/detail/181>

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（(国研)農研機構 Web)

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【11. 米の生産意向に関するアンケート調査について】

今後の米政策を検討するにあたって、米の販売農家・農業法人その他経営体の皆様へ今後（来年、5年後、10年後）の米の生産構想に関するアンケート調査を実施いたします。

全ての米の生産者の皆様が対象です。ぜひ、ご協力をお願いします！

（調査期間）

令和7年6月19日（木曜日）から令和7年7月31日（木曜日）まで

◇ 詳しくはこちら（農林水産省 Web)

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/250619.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課（担当：山本、松尾）

TEL：03-3502-8448（直通）

## 【12. 今年も優良なそば生産農家・集団を表彰します！】

一般社団法人日本蕎麦協会は、毎年、優良なそば生産農家・集団を表彰しており、本年は、令和7年10月31日（金）を期限に募集を行っています。

この「全国そば優良生産表彰事業」は、そばの生産技術の向上や経営改善、安定的な出荷販売のほか、加工品の販売により付加価値を向上させる取組など、全国の模範となるそば生産農家・集団を表彰し、これらの技術や取組を全国に普及することを目的に、平成元年度から実施しているものです。

応募にあたっては、都道府県（農業普及指導センター）、市区町村、農業協同組合等からの推薦が基本になりますので、お近くの関係機関にご相談ください。

◇ 全国そば優良生産表彰事業の概要についてはこちら（（一社）日本蕎麦協会 Web）

→ [http://nihon-soba-](http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html)

[kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html](http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html)

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局地域作物課（担当：五十嵐、石川、永井）

TEL：03-6744-2115（直通）

## ◆◆◆編集後記◆◆◆

いよいよ夏本番となってきました。これから厳しい暑さの中で仕事をするようになるわけですが、暑さの中での労働は体力を消耗し、熱中症の危険も出てきます。皆さんは熱中症にならないために、何か対策はされていますか？私は熱中症対策として、夏野菜を積極的に摂るようにしています。夏野菜には水分が多く含まれ、体内の熱をクールダウンしてくれるうえに、旬の野菜は栄養価が高いので水分と栄養が同時に補給できます。また、生で食べられる物も多いので、暑い中料理するのが億劫な時や、あまり食欲がない時でも気軽に食べられます。ぜひ皆さんも夏野菜を積極的に食べるように心がけてみてはいかがでしょうか。これから暑い日が続きますが、しっかりと水分補給、十分な睡眠などの体調管理を行い、ベストな状態でお過ごしいただければと思います。（磯野）

■ 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日：毎月1回発行
- 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：大庭、磯野

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ [https://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/n\\_hyousyou/hyousyou\\_merumaga.html](https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html)

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

